

おもしろエコ塾 源流ツアー

佐々川上流の沢登りを行い、河川水（上流・下流）や家庭排水などの汚れをCODパケットなどで比較して、川が汚れる原因を考えます。

とき 8月26日(日)9時～13時15分
ところ 世知原少年自然の家

対象 小学4年生以上50名（小学生以下は保護者同伴）

参加料 無料

応募方法 電話かファクス、Eメールのいずれかで「住所、氏名、小中学生は学年、電話番号」を環境保全課へ

締め切り 8月17日(金) ※応募者多数の場合は抽選。

注意事項

- ①調べてみたい水（家庭排水、水槽の水など）を500cc程度持参してください。
- ②濡れてもよい服装で参加し、着替えなどを用意してください。

自然を体感できる場所を教えてください

市内の自然を五感で体感できる場所（特にあまり知られていない場所）を募集しています。皆さんの情報を基に地図を作成し、希望者への配布や市環境情報ホームページで公開(予定)します。

締め切り 10月31日(水)

※応募方法等は、市環境情報ホームページをご覧ください。

【あて先・お尋ね】

市環境保全課 〒857-0851 稲荷町1-8

☎26-1787 ☎34-4477

Eメール kanhoz@city.sasebo.lg.jp

市環境情報ホームページアドレス
http://econet.i-sasebo.com/Econet/jsp/kankyohp/topindex.html

家庭で実践!

水にやさしい暮らしの工夫

①調理くずなどの処理

野菜の切りくずや食べ物のかすなどを流さないように、三角コーナーなどにごみ取り用のネットを付けましょう。また、米のとぎ汁は植木の水やりに利用しましょう。

②廃油などの処理

使用済みの天ぷら油などは、新聞紙などにしみ込ませるか、固めるなどして、排水口に流さないようにしましょう。また、食器の油汚れなどはふき取ってから洗いましょう。

③洗剤の適量使用

洗濯洗剤は、適量を守って使うようにしましょう。適量以上の洗剤を使用しても汚れ落ちが良くなるわけではありません。

④お風呂の残り湯の利用

お風呂の残り湯やシャンプー・リンスは、川や海の汚れの原因になります。シャンプー・リンスは適量を守り、残り湯は洗濯などに利用しましょう。

川の水にこんなに負担をかけています!

これを流すと…	魚がすすめる水質にするのに浴槽(300ℓ)何杯分の水が必要?
使用済み天ぷら油(400ml)	400杯
マヨネーズ 大さじ1杯(15ml)	13杯
牛乳 コップ1杯(180ml)	11杯
米のとぎ汁(1回目)(500ml)	4杯
シャンプー(1回分)(4.5ml)	0.67杯

生活雑排水対策推進指導指針より引用

夏休みの自由研究にどうぞ

身近な川の水質チェック

①準備するもの

CODパケット(教材店で購入可)、水を取る道具(バケツなど)、長ぐつ、ビニール手袋、水を持ち帰るときはふたのある容器

②川の水をくむ

バケツなどの容器を川の水で2～3回ゆすいで、静かにくみます。

③パケットで測定する

- ・パケットのピンを引き抜きます(針で穴を開けるタイプもあります)。
- ・端から2～3回折り曲げて、チューブの中の空気を追い出します。
- ・チューブを折り曲げたまま、くんだ水の中に入れます。
- ・チューブを水の中でゆっくり元に戻すと、水を吸い上げることができるので、チューブの半分くらいまで吸い込ませます。
- ・軽く5～6回、中の液(試薬など)が飛び出さないように混ぜ、5分後の色を見ます。
- ・チューブの中の色に一番近い色を「比色表」から探します。
- ・比色表の一番近い色のところの数字がその水の水質を表し、数字が大きいくほど汚れています。

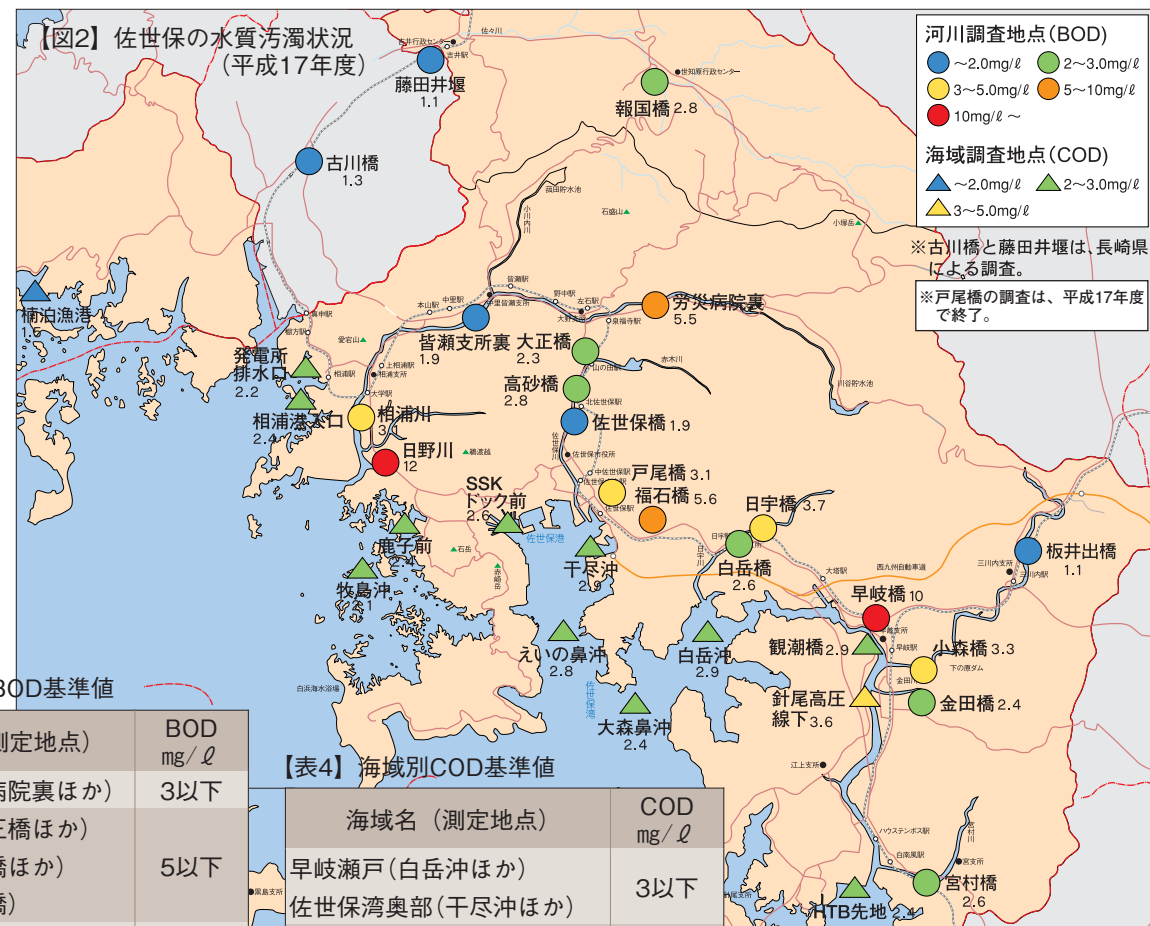
④その他

水にごり(視覚)、におい(臭覚)、そこにすむ生き物なども併せて調べてみましょう。

※調査するときは次のことに注意してください。

子どもだけで調査しない▶雨の日や、雨の降った後などは調査しない▶水深が浅い場所で調査し、滑らないようにする など

※家庭排水の水質調査方法などは左のホームページをご参照ください。



【表3】河川別BOD基準値

河川名(測定地点)	BOD mg/ℓ
相浦川(労災病院裏ほか)	3以下
佐世保川(大正橋ほか)	5以下
日宇川(日宇橋ほか)	5以下
小森川(小森橋)	5以下
小森川(板井出橋)	2以下
佐々川(報国橋)	2以下
その他河川	なし

【表4】海域別COD基準値

海域名(測定地点)	COD mg/ℓ
早岐瀬戸(白岳沖ほか)	3以下
佐世保湾奥部(千尽沖ほか)	3以下
佐世保湾中央部(大森鼻沖)	3以下
大村湾(ハウステンボス地先)	2以下
北松海域(相浦港入口ほか)	2以下

佐世保の水質環境

水質検査の状況

本市には、相浦川、佐世保川、日宇川、小森川(早岐地区ほか)、県内最長河川である佐々川の主要五河川をはじめ、早岐川、日宇川、福石川、金田川(広田地区)、宮村川など多くの中小河川があり、これらは佐世保湾、早岐瀬戸、大村湾、九十九島海域(鹿子前・北松海域)などに流入し、多くの生命を維持する栄養分などを運んでいます。本市ではこの大切な河川、海域の水質環境の現状を常に把握するため、現在、十河川(十六地点)と五海域(十二地点)で監視を行っています。

水質の環境基準には、人の健康の保護に関する基準(健康保護項目)と生活環境の保全に関する基準(生活環境項目)があります。健康保護項目は、有害性が強い水銀、PCBなど二十六の物質を検査項目としています。生活環境項目は、BOD(注2)、COD(注3)など基本的な水質汚濁物質五項目を検査項目としています。さらに、生活環境項目は、工業、農業用水など利用目的に応じて、河川や海域ごとに、類型指定され、各類型毎に基準値が定められています(表3、4)。

平成十七年度測定結果の概要

①河川の水質(図2)

主要五河川では、相浦川の一部がBOD基準値を超過しましたが、健康保護項目では、全河川とも基準を満たしていました。

しかし、早岐川、日宇川の中小河川の流域は、いずれも住居や商店街が密集しており、公共下水道が整備途中のため、未処理の生活排水が流入し、BODが10mg/ℓ(悪臭発生の目安)を超える月もあるなど、水質汚濁が悪化する傾向にありました。

②海域の水質(図2)

五海域とも健康保護項目の基準は満たしていましたが、佐世保湾奥部を除くほとんどの海域で、生活環境項目のCOD基準値(表4)を超過していました。これは河川と同様、生活排水等の影響が大きく、湾など閉鎖性の高い水域のため海水が交換しにくいことなどが主な原因と考えられます。

本市の河川や海域の汚れの約六割は、家庭等からの生活排水が原因ではないかと考えられています。その生活排水の約七割が炊事・洗濯・入浴によるもので、特に、台所からの排水が水質を悪化させると言われています。わたしたちにもできる取り組みを考え、実践しましょう。

注2 BOD(生物化学的酸素要求量)=河川水に含まれる汚れの指標。微生物が水中の有機物質を分解するときの酸素の量。

注3 COD(化学的酸素要求量)=海や湖沼に含まれる汚れの指標。薬品で有機物質を分解するときの酸素の量。